

鴨川市教育委員会 4 月定例会会議録

1 日 時 平成 2 5 年 4 月 1 8 日 (木) 開会 午後 3 時 0 0 分
閉会 午後 4 時 3 0 分

2 場 所 天津小湊支所

3 出席委員 (1) 根本新太郎 (2) 村上 修平 (3) 佐久間秀子
(4) 佐々木久之 (5) 野田 純

4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典
(4) 原 一郎 (5) 金高 節

5 委員報告

- ・佐々木委員から、鴨川中学校の入学式が天候にも恵まれ、例年より 1 0 人ほど新生が多く盛大に行われたこと、全員の返事が良かったこと、先生の数が多く長欠対策主任や安全主任、心の教育主任など専門の先生がいたが、他の中学校も同様な先生がいるのか気になったこと、田原小学校と田原幼稚園も元気があり良い入学式であったこと、田原幼稚園では預かり保育が実施されて保育園から幼稚園に人数が流れて増えているようだが、これ以上増えると教室が大丈夫か心配になったこと、今年の亀田医療大学と城西国際大学観光学部の入学者がわかれば教えてほしい、等の報告、質問がなされた。
- ・佐久間委員から、長狭学園の入学式に出席したことに関して、小学生 2 8 名と中学生が 3 2 名の入学者であったこと、読み聞かせや琴の練習で前々から長狭学園に関わってきたことを抜きにしても、大変明るい声で返事ができ素晴らしい入学式であったこと、非常勤を含めて 4 6 名の職員がいること、学年が 1 クラスしかない規模で担任、副担任、主任がいて恵まれた職員体制であること、これからも継続していくことを臨むこと、太海小では 8 名の入学者であったが、さわやかで心温まる入学式であったこと、等、報告がなされた。
- ・村上委員から、小湊幼稚園と小学校の入園・入学式に出席したこと、入園したての園児が 1 年生になると落ち着いてしっかりとお話が聞けるようになることから、2 年間の教育が如何に大事かというのを実感したこと、小湊小の新入生が 1 2 名、幼稚園の入園児も同数の 1 2 名であったこと、いずれの入園・入学式もとても明るくて雰囲気良かったこと、小湊小学校の歌声が澄んで高音も出ていて素晴らしかったこと、などの報告がなされた。
- ・根本委員から、安房東中学校と天津小学校の入学式に出席したこと、どちらの入学

式も天気がよく清々しい入学式であったこと、安房東中学校も天津小学校も入学生はおとなしかったこと、天津小学校では式の途中で一人泣き止まない子がいたこと、母親が式の最中に傍について対処していたこと、自分は見えていないがハイヒールを履いて式に参加している教員がいたということ、床が大丈夫か心配になったこと、いろいろ理由があると思うがどうなのか、等の報告がなされた。

6 教育長報告

3月23日に天津、田原、江見の土曜スクールの閉講式があり教育委員会から修了書を渡したこと、28日には千葉ロッテマリーンズの応援ということでオリックス戦を観戦したこと、なかなか点が入らず帰りが遅くなってしまったこと、延長戦でサヨナラ勝ちをして良かったこと、4月4日に亀田医療大学の入学式に出席したこと、城西国際大学観光学部の入学生の人数は今年からホームページで公開することになっていること、6日に城西国際大学観光学部のさくら祭りと句碑除幕式があり参加したこと、水田三喜男氏の母校である安房高校の吹奏楽も演奏していたこと、長狭学園の入学式に出席したこと亀田医療大学の学生会館の落成式があったこと、東条幼稚園の入園式に出席したこと、4月から預かり保育が始まり園児数も増えクラスも増えたこと、入園児は落ち着きがなかったが在園児はしっかりと座っている様子を見て、幼稚園教育の意義を保護者に話したこと、入学式のハイヒールの件では他の学校にもいるようなので注意していきたいこと、江見地区の小学校適正配置および幼保一元化について、江見3小学校区で地区別説明会を開催していること、江見小学校区でも大方の理解を得られたこと、参加者から通学や今後の進め方についての意見が出されたこと、等の報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・ 佐々木委員から鴨川中学校の教員が大変多かったことや分掌についても細かくなっているが他の中学校でも同じかとの質問があり、蒔苗教育次長より、規模の大小に関わらず、どの学校でも校務分掌において必ず置かなければいけない主任があること、例えば教務主任や安全主任、研究主任、国際理解教育主任、情報教育主任、各教科の主任などはどの学校でも置いていること、ただ、鴨川中学校のように大人数になると教員一人ひとりにやる気を持たせるという意味から、一人一役として独自の主任を置いているとの説明がなされた。根本委員からのハイヒールの件については、蒔苗教育次長より、通常勤務ではハイヒールを履いて指導することは好ましくないとの注意をしていることから皆無と考えていること、儀式の日には服装も儀式用に着飾ることが多く、服装にふさわしい履物ということでハイヒールをはく教員がいることは予想できること、今後非常時にも対応できる上履きということで校

長会とも図りながら検討して参りたいとの説明がなされた。また、佐々木委員の質問にあった市内大学の入学者数については、蒔苗教育次長より亀田医療大学は79名、城西国際大学は未確認との報告がなされた。

- ・その他に質疑がなく、全員の了承が得られた。

6 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市視聴覚センター運営委員及び専門委員の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長から、「鴨川市視聴覚センター運営委員及び専門委員の委嘱」について、P10の資料をもとに説明がなされた。
- ・質疑なく、全員の了承が得られた。

7 その他

(1) 蒔苗教育次長から、「平成25年度鴨川市教育施策」について、資料をもとに説明がなされた。

- ・根本委員から、登下校の安全ということが施策にあったが、自分の家の前を子どもが道の両側に分かれて下校していたこと、先生がいても注意しなかったことから、どちらかに決めて登下校させてはとの質問があり、野田教育長より、交通事情や道路事情により安全確保の点から右側歩行でない場所もあること、道に広がって歩くことは注意してまいりたいとの説明がなされた。
- ・佐々木委員から、青年会議所が行っている「未来少年プロジェクト」を今後も継続して実施する予定であれば、早めに青年会議所と相談をしておいたほうがよいとの意見が出された。蒔苗教育次長より、鴨川市教育振興計画作成時には想定していない行事だったが、実際に行ってみると生徒の望ましい職業観を高める意味において大変有意義な取り組みであるので、今後とも青年会議所と相談しながら継続の方向で進めていきたいとの説明がなされた。
- ・村上委員から、1点目として、アプローチカリキュラムで幼小連携を図ることは以前から聞いているが、このことは鴨川市独自か先進事例を倣っているのか、2点目として、全国学力テストで基礎基本は平均以上で応用力が劣ると聞いているが改善する手立ては、3点目として、いじめが起こったときの連携やマニュアルはどうか

っているか、4点目として、栃木県で数年前に女兒が巻き込まれる未解決事件があり、本市も例外ではなく安全安心な街づくりがとても大切と考えるが、犯罪防止及び早期解決につながる防犯カメラについて設置の考えがあるか、以上4点の質問があり、野田教育長から、アプローチカリキュラムについては姫路教育大学付属幼稚園が取り組んでいた幼小連携のよい資料があったので参考にしたこと、防犯カメラの設置については警察とも連携し、社会の変化に対応して検討すべき課題であると認識していること、蒔苗教育次長より応用力・活用力を向上させるために、話し合い活動を積極的に取り入れたり、学習形態の多様化を図ったり、結論よりそこに至るプロセスを大事にする授業を多くして改善を図っていること、いじめと体罰についての伝達と報告については校長会にしっかりと依頼していること、いじめなどは教員の見えないところで行われるケースが多いため、家庭地域との連携が欠かせないこと、人に相談できない子どもへの対応が重要であること、事の重大さを認識し正確な情報を的確に伝えることが大事なこと等の説明がなされた。

- ・佐久間委員から、子どもたちの応用力不足は認識しているが、各学校に講師がたくさん入っている状況で、担任と講師の打ち合わせが十分に取れているのか、授業づくりの面でどのような良さや課題があるのか等について、話を聞きたいとの要望が出され、蒔苗教育次長から、教育委員研修の内容に組み込むようにしたいとの回答がなされた。また、警察の巡回パトロールがいつも同じルートなのか、それとも狭い道も含めいくつかのコースがあるのか、3時に交通事故防止を呼びかける防災無線が最近聞こえないがとの質問があり、蒔苗教育次長より、巡回パトロールについては確認すること、交通事故防止の放送については継続要望していきたいとの説明がなされた。

- (2) 各課長から、「5月の教育委員会行事予定」について、資料を基に説明がなされた。
- (3) 蒔苗教育次長から、「教育委員研修の計画」について、希望する研修内容について意見を求め、佐久間委員より現場の教員との意見交換を望むとの意見が出された。さらに、新聞の見出しに「学力向上学校週5日制に賛成」という見出しがあったが、市内教職員が集まる研修の機会に教育委員も参加させてほしいとの意見が出された。詳しくは次回の教育委員会定例会で提案することとなった。
- (4) 蒔苗教育次長から、安房地区教育委員会連絡協議会総会と県市町村教育委員会連絡協議会定期総会について、資料をもとに説明がなされた。
- (5) 佐々木委員から、教育再生実行会議では小学校の高学年を理科専門の教師が教えるとの情報があるが、鴨川市ではどう考えているかとの質問があり、野田教育長より今のところ考えていないとの説明がなされた。

根本委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成25年5月22日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔 苗 茂